

- 1 だいまくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは二ぎようめに書き、文しようは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましょう。
- 2 だんらくのはじめは、一字かけて書きはじめ、だんらくごとにぎようをかえましょう。
- 3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

(月 日 曜日)

三日月池と大造いさんとカン	上場小学校 四年 徳永 漢雅	みなさんは、三日月池を知っていますか。三日月池は、ぼくの通う学校から車で二、三分行ったところにある池の名前です。そこは、大造いさんとかシのお話の舞台となつた場所です。そのことを、クラスの友だちに教えてもらい、今年初めて知りました。さらに、大造いさんとかシの話は、昔、実さいにあつた話だと聞き、そのことに	フいても、とてもおどろきました。ぼくが、椋鳩十の作品である「大造いさんとかシ」を讀むきっかけとなつたのは、夏休みの宿題のコンクールの六人の中で、椋鳩十の感想文のお知らせを見たのがきっかけです。今まで取り組んだことがなかったのに、ちよ	う戦うことになりました。大造いさんとかシの話のかん	すじは、大造いさんが若いころ、カン	うでがシをうと
---------------	----------------	---	--	---------------------------	-------------------	---------

4
と。は、それぞれ一字にきざえて、一マスの中に書きましょう。
おはなししたところは、「」の中に入れてぎょうをかえて、おはなしだけを書きましょう。

(不許複製)

鹿児島県小学校教育研究会国語部会選定



- 1 だれもくは、一ぎようめに、学年・学校・組・名まえは一ぎようめに書き、文しうは三ぎようめの二ばんめのマスから書きましよう。
2 だんらくのはじめは、一字きげて書きはじめ、だんらくごとぎようをかえましよう。
3 詩や文は、どのぎようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましよう。

() 月 日 曜日

ようである残雪が、ハヤブサとあらそうが
たを見て、残雪への思いが変化していくお話
です。

このお話を読んで、ぼくが心に残ったこと
は二つあります。

一つ目は、ハヤブサにおそわれた仲間を救
うために、残雪がハヤブサに立ち向かってい
たところでした。仲間思いで、自分がきけん
をおかしてまでも助けようとするすがたがと
てもかっこよく感じました。ぼくのしう来

のゆめは、人の役に立つことです。ぼくも多
くの人の役に立てるような人になりたいと思
います。

二つ目は、大造いいさんががんの残雪を手
当てをして帰った場面です。けがをした残雪
をうつのではなく、「また来年な」と、元気
になつた時に勝負をしようとしていこうと
した場面です。大造いいさんのすがたが
しのすがたを想ぞうすると、とてもかっこよ
く感じました。

- 4 、と。は、それぞれ一字にかぞえて、一マスの中に書きましよう。
5 おはなししたところは、「」の中に入れてぎようをかえて、おはなしだけを書きましよう。

(不許複製)



- 1 だいくは、一きようめに、学年・学校・組・名まえは二きようめに書き、文しうは三きようめの二ばんめのマスから書きましょう。
2 だんらくのはじめは、一字さげて書きはじめ、だんらくことにきようをかえましょう。
3 詩や文は、どのきようも三ばんめのマスから書き、あたまをそろえましょう。

(月 日 曜日)

このように、「大造いいさん」、「残雪」の言葉や行動からたくさんのごとを学ぶことができました。

また、棕鳩十の本を調べると、よく動物が出てきます。そして、こん虫もよく出てきます。おそらく、棕鳩十は動物と虫が好きだと思います。

ぼくは、棕鳩十の作品がすごく好きになりました。他の作品をばんばん読んでいきたいです。

最後に、自分の住んでいる近くにある三日月池を大切にしたいです。つ木から、三日月池の近くを通るたびに、「大造いいさん」が「の」のことを思い出すと思います。

